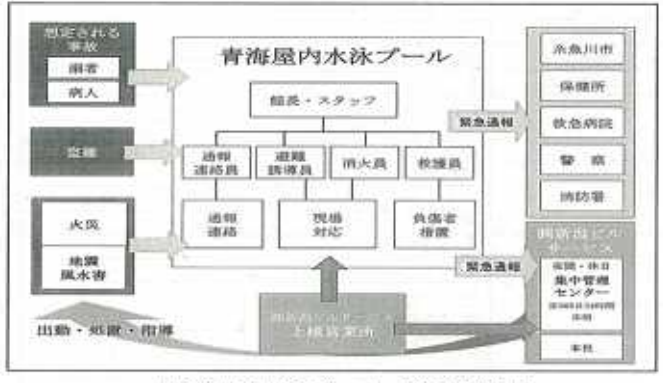


平成27年度指定管理業務 評価票

1 基本事項								
公の施設の名称		糸魚川市青海屋内水泳プール						
施設の設置目的		水泳を通じて市民の健康増進を図るとともに、市民スポーツの振興に資するため、屋内水泳プールを設置する。						
所管部署		生涯学習課						
指定管理者		株式会社新潟ビルサービス						
指定期間		平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間						
主な事業		・屋内水泳プールの管理運営 利用申込の受付等・利用料金の徴収・水泳教室・プール施設の管理業務、施設、設備、器具及び備品の維持管理						
2 管理運営状況								
平成27年度管理運営状況(主要な取り組み・成果、地域貢献等の実績)								
幅広い年齢層が利用しやすい教室プログラムの企画・運営により、多くの市民の方が利用できるような取り組みを実施している。利用者数及び 利用料金収入は前年度を上回った。市立小中学校の大会・授業でプール使用の協力を行っている。また、直営時から引き続き、地区の水泳クラブの活動にコースを開放している。								
利用状況								
		H25年度	H26年度	H27年度				
指定管理者名		株式会社新潟ビルサービス	株式会社新潟ビルサービス	株式会社新潟ビルサービス				
利用者数(人)		37,155	38,330	39,071				
「利用者サービス」における市の状況分析		平成22年度より指定管理制度を導入し（平成26年度より、第2期指定期間）、直営時よりも多様な教室プログラムを取り入れ、多くの市民から利用いただける事業運営を行っている。						
収支状況								
(単位:千円)								
		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度(予算)
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
収入	指定管理料	19,870	20,737	25,900	25,900	25,900	25,900	25,900
	施設修繕料	1,500	1,499	1,500	1,499			
	利用料金	10,989	8,843	8,300	9,978	8,300	10,790	8,300
	事業収入	360	360	750	430	750	454	750
	その他収入							
計		32,719	31,439	36,450	37,807	34,950	37,144	34,950
支出	人件費	15,939	15,939	17,428	18,790	17,428	18,790	18,790
	イベント事業							
	施設管理費	13,781	16,288	15,834	17,178	14,334	13,795	11,580
	その他経費	2,999	3,058	3,188	2,639	3,188	2,473	4,580
	計	32,719	35,285	36,450	38,607	34,950	35,058	34,950
収支差額		0	-3,846	0	-800	0	2,086	0
「収支状況」における市の状況分析		第2期の指定管理料の見直しと、利用料金収入がこれまでの指定期間の中で一番大きな額になったことや、施設管理費が概ね計画通りの執行となったことから初めてプラスの収支となった。						

平成27年度指定管理業務 評価票

3 適正な管理運営の確保

目標管理	評価指標	安心・安全な管理運営の達成
	目 標	事故をゼロとする
	実 績	事故0件（仕様書に基づいた適正な管理運営業務が行われた。特に安全確保を強化した。）
資料	「青海屋内水泳プール危機発生時対応マニュアル」を作成し、事故・災害発生時に緊急体制図に基づき職員が対応を行います。  【青海屋内水泳プール 緊急体制図】	

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・誰もが利用できる仕組みを構築し運営しているか。	自主事業（水泳教室等）は、一般ご利用者の利用スペースを確保したうえで実施した。また、必要に応じ、プールフロアを設置し幼児の使用にも配慮した。
	・協定書及び仕様書等に基づいて設備の保守点検や備品の点検を適正に実施しているか。	備品等に移動が発生した場合は、速やかに報告している。設備の保守点検、備品の点検は、適切に行った。
	・協定書、事業計画書等で定めた職員体制がとられているか。	館長1名、水泳指導員・監視員3名、受付・監視員4名、清掃員1名の体制で運営しており、協定書の規定を満たしている。
	・利用者が安全、安心に利用できるような緊急・救急体制を有しているか。	危機発生時対応マニュアルをもとに各種訓練を実施した。7月12日～14日プール内清掃及び排水口点検を実施した。
	・事故防止や事故発生時の対応について研修等を実施しているか。	6月24日 社内アドバイザーによる監視員研修を実施した。（AED、一次救命措置） 10月8日 普通救命講習を実施した。
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	館長が苦情対応の責任者となりマニュアルに基づき対応している。プールの水温、室温については巡回時に確認し、適正温度を維持するよう努めた。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A A	A A
	評価理由	管理運営に関しては、利用者の安全と利便性を第一に考え施設運営を行ってまいりました。事故防止・発生時に備えて各種訓練を行いました。特に、利用者が多くなる夏休み前に監視員の資質向上のため監視研修を実施し安全の確保に努めました。社内の「応急手当普及員」による普通救命講習も実施いたしました。また、設備等による事故防止の為、適切に保守点検を行っております。	定期的な職員の研修会の実施、応急手当普及員の資格取得（1名）など、職員の資質向上の取り組みを行っている。また、水辺の安全教室等、利用者も対象にした安全講習会を行い安全意識の向上を図っていることは評価できる。 また、利用者と積極的に声掛け等コミュニケーションを図りながら親しみやすい施設の運営を行っている。 施設修繕について、積極的に地元業者を使用していることも評価できる。
	改善事項	施設老朽化に伴い今後も設備の故障が想定されます。設備等の事故発生を未然に防ぐため、引き続き適切な保守点検に努めます。	今後も継続して研修・訓練を行い職員の安全意識の向上に取り組み、万全の危機管理・安全管理体制を維持していただきたい。

【評価基準】

ランク	目標達成率(%)	判断基準
AAA	115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA	105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A+ 100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A- 95%以上 100%未満	
B	80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C	80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

平成27年度指定管理業務 評価票

4 利用者サービスの向上

目標管理	評価指標	利用者人数の増加					
	目 標	前年度利用者 38,330人を上回ること					
	実 績	利用者 39,071人（対前年度比101.9%）					
資料							
							(単位:人)
	項 目	H25年度	H26年度	H27年度	H27年度 計画値	達成率 /	対前年度比 /
	一般利用者	16,237	16,501	14,044	17,000	82.6%	85.1%
	教室利用者	20,918	21,829	25,027	20,000	125.1%	114.7%
	計	37,155	38,330	39,071	37,000	105.6%	101.9%

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・利用促進に向けた取組みに努めているか。実現可能な利用促進策を実施しているか。	無料開館日及び無料体験教室の継続実施により新規利用者の確保に努めた。
	・教室、イベント、自主事業などの取組み状況	水泳教室の開催時間や内容、定員等は毎回見直し、利用者のニーズに合うよう改善を行った。子供たちの泳力向上の為、5月3日～5日、9月20日～22日、12月20日に強化合宿を実施。
	・利用者数増加のためのPR活動は実施しているか。	市の広報紙やホームページの活用に加えて、市の施設、市内の各企業・スポーツ施設に積極的にPR活動を行った。
	・利用者アンケート等を活用し利用者の要望や意見を把握しているか。また対応策を講じているか。	館内に設置したアンケートボックスで利用者の要望を集め、保護者会やご利用者から生の意見も集めて、速やかな対応を心掛けた。スタッフミーティングを行い、情報の共有化に努めた。
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	特になし

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A (A +)	A (A +)
	評価理由	サービスの向上については、アンケート、口頭でのお申し出を積極的に集め、意見を把握して運営に反映できるようすすめております。ご利用者の利用促進のため、水泳教室の内容や時間帯の工夫を行い利用者の向上にも努めております。昨年度に立ち上げた保護者会と連携を取り、泳力向上のために強化合宿を実施いたしました。今年も利用促進を目的に「新春初泳ぎ無料開放」を実施致しました。また新たな企画として着衣泳の講習会を実施いたしました。	1月からの漏水による2・3月の休館の影響で、利用者数が前年度を下回ったが、教室利用者数の合計が過去最大の人数になったことは評価できる。アンケート用紙の設置、利用者への日常的な声掛けにより、利用者のニーズを把握しそれにこたえるよう努力している。 指導及び指導者については、教室はもちろん、合宿や合同練習、大会への積極的な参加を呼びかけ、市外の大大会では上位入賞者を多く輩出するなど、子供たちの交流、及び水泳技術の向上に大きく貢献した。
	改善事項	今後もアンケートや口頭でのご利用者のご意見・要望を集め、水泳教室の内容や運営全般に反映させて、ご利用者の増加に繋げてまいります。	第3期教室終了後、新たな取り組みとして行った教室の成果（目的・目標が達成できたかどうか）についてのアンケートを実施したが、アンケート結果を、今後の教室に反映させるよう努めてもらいたい。

【評価基準】

ランク	目標達成率(%)	判断基準
AAA	115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA	105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A+ 100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A- 95%以上 100%未満	
B	80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C	80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

平成27年度指定管理業務 評価票

5 収支の実績

目標管理	評価指標	収入額の達成状況					
	目 標	前年度収入額10,407,686円を上回ること					
	実 績	11,243,728円（対前年度比108.0％）					
資料							(単位:円)
	項 目	H25年度	H26年度	H27年度	H27年度 計画値	達成率 /	対前年度比 /
	一般収入	2,219,375	2,155,780	1,941,120	2,500,000	77.6%	90.0%
	教室収入	6,622,850	7,822,100	8,849,230	5,800,000	152.6%	113.1%
	物品販売	360,313	429,806	453,378	750,000	60.5%	105.5%
	合 計	9,202,538	10,407,686	11,243,728	9,050,000	124.2%	108.0%

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・ 利用料収入の目標達成度	目標値を達成した。
	・ 収入増加のための取組みを実施しているか。	オリジナル商品の販売やカップタイプのドリンクの販売等の物販は継続して実施。水泳教室で大人の初心者向けのコースを新設して集客に努めた。利用者が減少する冬期間にはマスターズやフィンスイミングの愛好家等にコースを開放して集客に努めた。
	・ 収支決算書は適正に作成されているか。	適正に作成した。
	・ 経費削減や業務の効率化に取り組んでいるか。	平成26年度より開館時間の見直し（一部短縮）を行った。27年度も継続。長年少しづつ進んでいた漏水を直したことで水のみならず薬剤、灯油等の使用量の縮減にもつながった。
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	特になし

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A A	A A
	評価理由	企画イベントの実施、水泳教室の増加など工夫を行い、利用収入の目標達成に向けて取り組んでまいりました。老朽化による設備の故障や漏水により休館を余儀なくされましたが、結果として教室収入、合計収入が昨年に比べ増加いたしました。設備の運転方法を工夫して、電気料等の縮減に努めました。	漏水に伴う修繕工事实施のため、2・3月に休館したが、利用料収入の減少には繋がらなかったことは評価できる。 教室収入については、前年度を大幅に上回り、教室収入及び合計収入共に過去最高の額になった。その結果、プラス収支となったためA A判定としたい。
	改善事項	イベントや教室の内容、告知方法を工夫し、さらに利用者を増加させ、収支の改善に努めます。	一般利用者の増加及び大人向けの教室参加者の増加を図る取り組みが必要。また、経費の縮減に引き続き努めるようお願いしたい。

【評価基準】

ランク	目標達成率(%)	判断基準
A A A	115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
A A	105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A+ 100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A- 95%以上 100%未満	
B	80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C	80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

平成27年度指定管理業務 評価票

6 公の施設の設置目的と全体評価

検 証 等	市 の 評 価	市の評価			
		設置目的	目標管理（評価指標）の再掲	指標別評価	
		利用者数を増やし、市民の健康増進を図るとともに、水泳技術の向上を図る。	適正な管理運営の確保	A A	
			利用者サービスの向上	A（A＋）	
			収支の実績	A A	
		評価内容		総合評価	
		・平成26年度より水中運動を教室のコースに組み込む等、市民の健康増進を図る取り組みを行っており、設置目的に合致している。 ・毎年3月に開催している水泳記録会への参加人数も昨年度を上回る人数となった。（H25年度83名→H26年度143名→H27年度149名） ・当施設は平成元年の開設より、経年による老朽化が進み、施設内容も近年造られたプールに比べればレジャー性に乏しく、一般利用者の集客が困難ではあるが、指定管理者は創意工夫により、適正な管理運営と利用者へのサービスを行い意欲的に集客に努め利用者数は維持されている。 ・第2期指定期間から指定管理料の見直しとともに収支状況が大幅に改善され、平成27年度は指定管理制度を導入してから初めてプラス収支となった。水道以外の光熱水費が前年度を下回り、支出経費が縮減がされた。教室について、日程を調整して休館の影響を受けないよう最大限工夫し、教室収入の減につながらないよう努めた。 ・上記の内容に指標別の評価を含め、全体的に判断し、総合評価を「A A」とした。		A A	
		課題検証	・一般利用者数の増加 幅広い年齢層の市民に温水プールの良さをPRして新規利用者の開拓や、より多くの市民に利用していただける対応策の検討が課題である。		
		改善事項	・収入増加への取り組みを強化、拡大実施してもらいたいことから、大人の利用者の増加に繋がるサービスの導入や教室の拡充等について検討願いたい。 ・今後施設の長寿命化を図るため、さらなる適正な日常のメンテナンスの強化を実施してもらいたい。 ・教室の直接の効果を調査するアンケートを第3期教室終了後実施したことから、その結果を今後の教室に反映できるよう対応願いたい。		

【総合評価】

評価区分	判断基準
A A A	優良である
A A	良好である
A	適正である
B	課題がある
C	改善を要する

○ 評価委員会の意見

項目	意見
適正な管理運営の確保	・ 適正である。
利用者サービスの向上	・ 良好である。
収支の実績	・ 休館期間があったにも関わらず、収支が改善されている。スタッフの質の向上、利用者層に合わせる日程調整、利用者への声掛けなど、全体の工夫が収支の好転要因となっており、評価する。
公の施設の設置目的と全体評価	・ 安全な利用に力を入れている。 ・ 施設の老朽化が進む中でこれ以上の収入の増を目指すのは難しいと思われるが、市と指定管理者はさらなる連携を図り、幅広い年齢層を対象としたプログラムを実施するなど、施設の設置目的に沿った市民の健康づくりの推進を図り、変動費を減らさないように努力願いたい。